



市報

ちようふ

CONTENTS(主な内容)

令和7年度学童クラブ入会申し込み	5
第69回調布市民文化祭	10
しえいはんず2024	11
令和6年度総合防災訓練・防災フェア	16

身の回りで
手伝ってほしいことは
ありませんか？

そんな時は
シルバー人材センターに
お任せください



調理援助



植木剪定

併せて

会員
募集中

シルバー人材センターに
登録して、生きがい探しを
してみませんか？

問 調布市シルバー人材センター
☎042-487-9375

詳細は2・3面をご覧ください➡

手をつなぐ樹 451



米国の今後

第2次大戦後に、連合国が日本を分割統治する計画があったという。もしそれが実行に移されていたら、東側陣営に属することになった日本人は間違いなく言論の自由を奪われてしまっただろう。その甚大な基本的人権の侵害を想像するだけで身の毛がよだつ。そう考えると、米国の中心とする西側の一員でよかつたと思わざるを得ない。ただ、その自由と民主主義の盟主たる米国が近年少しかしくはないだろうか。今年の大統領選挙においても、政策論争ではなく相手をお互いに罵る品性のかげりも感じられない声高な自己主張がまかり通っている。米国民は、一体これをどのように捉えているのだろうか。ケネディとニクソンが争った大統領選挙は1960年。両者が完全無欠の候補者だったと言われないが、世界のリーダーたらしめと聴衆にはつらつと訴える40代の論客同士の魅力的な舌戦を懐かしく思い起こす。

また前回2020年の大統領選挙時には、投票機不正の陰謀により当落が覆ったとの荒唐無稽な指摘もあった。まるで自国を民主主義が根付いていない途上国と見なすかのよう。そして、まさかとは思うが、万が一その幼稚な不正が実際に行われていたとしたら、これはもう理解不能としか言いようがない。

今回の選挙後に米国の不毛な国家分断状態に陥らないことを願っている。そして、もし建設的な議論を可能にする最大の要因が常に国民全体の健全な意識だとするならば、米国の現状を他山の石とすべきだと思う。

調布市友
友貴樹